

第 53 回 理事会議事録

場所 特定非営利活動法人オリーブの家事務所(岡山県津山市中島 2 3 2 番地 1 1)

2022 年 10 月 30 日(日) 午後 13 時 30 分～理事会を開催した。

当団体の理事総数 7 名

出席理事 7 名

山本康世、浅野肇之、森内忍、都築真敏

國吉和美、服部みさと、山本礼知

出席正会員 3 名

砂子 浩、玄馬誉士、小西竣也

出席正会員(オンライン) 1 名

米森 千尋

出席監事(オンライン) 野坂和夫

以上のとおり理事の過半数以上が出席及び欠席者からは委任状を受理したので、理事長山本康世が議長となり、開会を宣し議事に入った。

議案 当団体の活動報告及び今後の活動予定について

先月からの活動報告及び今後の課題、予算案、活動の広報について協議、検討を行った。

概要は次のとおりである。

(1)活動報告事項

○会員数、寄付金報告

・2022年度（10月分）

賛助会費 1口 3,000円

正会員会費 2口 10,000円

寄付金 69件 328,024円

READYFOR 継続 9月 55件 115,000円

シンカブル 10件 73,524円

今年度累計（4-3月分）

寄付金 500件 4,132,112円 正会員個人 22口 110,000円 賛助会員 4口

○相談者数報告

・2022年度（2022年10月）

DV被害 女性 27件 男性 5件 子ども 2件

DV加害 男性 1件

貧困母子家庭 計 3件

ストーカー被害 計 4件

行政機関団体その他 計 10件

○保護人数及び保護依頼状況(2022年10月)

保護依頼 計 14件 退所 3名 継続 5名 新規 3名

保護 計 8名（同伴児童含む）（詳細は別紙参照）

(2)主な事業の課題と予算の審議事項

1. 一時保護シェルター運営について

- ・物件売却については、津山の不動産と10月28日に契約し、この費用に関しては、現在アパートメント型の保護シェルターのニーズが高まっているためその費用として利用し、柔軟な運営はできるようにしていく。
- ・相談時間の変更について⇒相談員と相談し、9:00-17:00に変更する案が出た。
⇒理事会では承認済み
- ・周知の方法について
⇒ファイナンシャルプランナーの杉原さんが一部協力してくれることに。連合岡山の人権学習会の際にも保護シェルターについての紹介を行い、周知活動にも努めている。
- ・シェルター入居者への食糧及び生活用品等の支援
寄付によるふるさと納税返礼品での食料支援継続中
岡山 NPO センターを通じての食糧寄付
ライオンズクラブ、支援者（一般）からの食糧寄付
Amazon みんなの応援プログラムで生活用品、子ども用日用品など寄付依頼
- ・シェルターの現状について
満室。今月、3名が退所された。

2.REDYFOR 休眠預金事業（就労体験学習について）

- ・台風の影響で延期になったが、10月10日に予定通り就労体験学習を開催した。（キッザニア甲子園にて）

子どもたちの声

【キッザニアでの就労体験について】

○子どもたちの体験学習の感想

Kさん（小学生：女の子）

ずっと楽しみにしていた。お母さんとキッザニアに行く前に何があるか調べたら、パン屋さんや宝石屋さんがあった。キッザニアに行ってみたら、思っていたよりいっぱいお仕事をする所があってビックリした。宝石の違いが難しくて、悔しかった。また行きたい。

Jさん（小学生：男の子）

宝石屋さんが、難しかった。本当はNintendoに行ってみたかった。デパートで縄跳びを買いたくて、頑張った。馬はこの前乗った方が楽しかったけど、服を着せてもらえて嬉しかった。キッザニアの木には、リスや鳥が居ると聞いて探した。建物ばかりだったけど、木がリアルだった。

Sさん（小学生：男の子）

友だちに誘ってもらった。たくさんお仕事したから疲れた。周りの子は、楽しそうにしていたけど、早く帰ってゲームしたかった。でも、楽しかった。一緒に行った大人が、学校の先生より優しかった。

Eさん（小学生：女の子）

楽しかった。いっぱい働いた。いつも行くパン屋さんより、私の方が上手だと思った。パン屋さんの横でソーセージの良い匂いがした。動いた(働いた)から、お金をもらえて最後鉛筆を買った。でも、私が、作った口に塗るやつの方がすごいと思った。楽しかった。

Yさん(保育園:女の子)

行く前は、ソフトクリームや消防隊をしたかったけど、行ったらお寿司屋さんに行ってみたいと思った。握るのが難しかった。悔しかった。パスタも作った。ママのパスタより美味しく作れた。テレビもしたかったし、カード(免許証)があるから車にも乗りたかった。みんな道の信号が赤なのに、渡っていてダメだと思った。

3. DV 被害者セーフティーネット強化パイロット事業

(1) 今後、倉敷、県南の業務、SNS の取り組みを強化

⇒ウィズアップ倉敷からの紹介で保護シェルターへの保護が決まったケースもあり、連携が少しずつできている。また、若者の SNS 相談については、件数も増加傾向にある。

(2) カンファレンス実施

⇒カンファレンスで利用する教材動画(広島大学ハラスメント相談室准教授・全国シェルターネット共同代表北仲千里氏、カウンセラー市場恵子氏)の撮影が終了し、編集準備を進めている。

目的: DV・虐待に関連または関心のある支援団体に、DV・虐待に関する相談の実態を知ってもらい、現場での支援につなげていく。

(3) DV 被害のマニュアル冊子を作り配布する。(個別、総合マニュアル)

- ① 現状、予防・コミュニケーションに関しての情報が不十分。なので、そこを強化したようなマニュアル冊子を作成予定。
- ② 現段階は、コピーの様なもの。今後は、我々のデータも反映したもので、もっとちゃんとした感じの冊子を作成し配布したい。
- ③ 個人に向けて、色々な DV のタイプに合わせた個別の HOW TO を記載したものも考えている。→個別のプログラムとして提供。また、プログラムを体験した人には、FB をもらい、効果検証を行う。

※現在に、相談窓口の状況や 11 月 13 日に行うカンファレンスの状況について確認した。チラシを作成し、行政や支援団体などにお知らせを行っていく予定。

4. その他

・活動地域についてのお話。理事長からの事務局の理由の説明。

⇒利用者のために行政との連携が取りやすい地域での活動を考えている。現在の保護シェルターと新天地で対象者の状況によって対応していく。

(下記事項については全員で確認及び作業)

- 奇数月に名簿のチェック
- 寄付者への領収書・文章送付は、発生次第随時行う (Ready for 以外も)
- 事務所での整理整頓、書類整理等の課題については、随時各担当者主体に行う

☆次回理事会開催予定☆

日 時 2022年11月13日(日) 午後13時00分～午後14時00分

場 所 津山リージョンセンター (ペンタホール) ※カンファレンス前に実施。

理事長、理事及び会員により当団体の今後の活動方針の協議を執り行った。事業課題と予算及び資金調達について話し合い、その承認の可否につき審議した結果、以下のとおり全員一致をもって承認可決した。

記

今後の活動予定及び方針等について、承認する。

以上をもって議事を終了したので、議長は午後15時00分に閉会を宣した。

上記の決議を明らかにするため、この議事録を作成し、議長及び本会議で選出された議事録署名人2名が以下に記名押印する。

2022年10月30日

特定非営利活動法人オリーブの家 理事会

議長 理事長 山本 康世



出席理事 國吉 和美



同 森内 忍

